



中筋小学校だより

校訓 ～ 強い身体 正しい心 ～

舞鶴市立中筋小学校
学校だより 10月号
令和4年9月30日発行
<http://nakasuji.maizuru.edumap.jp/>
☎ 75-0372

天高く 馬肥ゆる 秋 ～ 実りの秋 本番 ～

真夏の感覚で半袖半ズボンで外に出ると、思わず「寒っ」ともらしてしまうほど、朝夕はめっきり涼しくなりました。学校周辺の景色も、夏から秋へ模様替えを進めています。田んぼの周りには「彼岸花」が競うかのように花を咲かせています。異常気象に何かと振り回される人間たちに少し足を止めて季節を感じなさいと言っているかのように、彼岸花は咲く時期を違えずに咲き始めます。そして、人間に秋の到来を告げ、それとともに肌を感じる風も柔らかな涼しさを運んでくれます。昔の人は、周りの景色や咲く花、感じる風などから季節の変化を感じ、「この時期にはこんなふうになる」ということを多くの言い伝えに残してくれています。「暑さ寒さも彼岸まで」。春分・秋分を中日にして前後3日間を合わせた7日間を「彼岸」と言いますが、この時期に合わせたかのように季節が変わります。彼岸花もその名の通り、確かにこの時期に見かけるようになります。“自然”からは、いつも自分で自分をよく知り、周りが少々乱れても、自分のすべきことを変わらずにやれる強さを感じます。

明日から10月です。「天高く 馬肥ゆる 秋」（空は澄み渡って晴れ、馬が食欲を増し、肥えてたくましくなるほど過ごしやすい秋を表現し、心身ともに快適に暮らせる秋の気候を意味します。）中筋っ子も多くの実りを自分のものにして一段とたくましく成長する姿を期待します。その一つがまさに運動会での子どもたちの姿です。今、学校は運動会に向けて、子どもも職員も一緒に汗をかき、共に素晴らしい運動会にしようと心を合わせています。

中筋小学校の運動会の大きな特徴の一つが、「虹グループ」を基本にした色集団です。「虹グループ」とは、1～6年生までが一つの活動班を作り、年間を通じて交流します。各班の6年生がリーダーとなり、週1回の活動内容を考え、運営します。上級生は上級生らしく、下級生は下級生なりにお互いを思いやり、楽しく活動している様子は微笑ましく、本校の落ち着いた雰囲気の原因になっていると感じます。班をまとめる6年生の姿に“あこがれ”を感じ、「あんな6年生になりたい」「僕も6年生になったら、あんなふうになりたい。」とその姿が受け継がれています。



運動会では、この「虹グループ」を崩すことなく3色が構成されます。児童会種目も虹グループで力を合わせて一緒に競技します。運動会までの虹タイム（毎週水曜日の業間休み）では、児童会種目でどうやったら勝てるか、班で知恵を出し合って作戦を考えます。ただ勝つためではなく、班のみんなが楽しみながら勝てるように知恵を振り絞ります。本番では、勝ったら喜び合い、負けてもお互いを労い合います。優しい子どもたちの関係が育まれていることを実感します。

運動会まで1週間余りとなりました。子どもたち個々の頑張り、低・中・高学年の集団としての頑張り、虹グループの一員としての頑張り、全校が一つになって行う頑張り、様々な頑張りが散りばめられた本校の運動会にどうぞご期待ください。

校長 亀井 敬介 教職員一同

「できた」「分かった」と

実感できる学びを

4月に6年生を対象とした全国学力・学習状況調査を実施しました。今年度は例年の国語・算数に加えて理科のテストも行いました。新聞報道でも問題を目にされた方もいらっしゃると思いますが、このテストは今の小学6年生に求められている力が問題に投影されています。

本校の結果としては、3教科共に概ね理解できているという結果になりました。児童の学習への意欲や態度面を聞く質問紙調査の結果からは、「授業におけるICT活用」の項目で、意欲的に活用し、自分の強みと感じている児童が多く、新しい教育環境に適応していることが分かります。反対に「自分の課題解決に向けて、自分で試行錯誤し、解決の筋道を自ら考え実行しようとする力には課題が見られます。」

これからの時代に求められる児童にとって必要な力を確実に身に付けられるため、児童が主体的に学び、「できた」「分かった」と実感できる授業づくりを引き続き進めていきます。また、身に付けた知識・技能を使って生活の中で活用してみようという意欲を一層高められるよう、取り組んでいきます。